



子どもたちが安心できる場所

校長 長谷川 利恵

古い話になりますが、映画の『寅さん』シリーズは長く国民に愛され続けました。もちろん今も愛され続けています。主人公の寅さんには「葛飾、柴又」という、いつでも帰れる場所がありました。そこには、妹の「さくら」や「おいちゃん、おばちゃん」が待っていてくれました。同様に、放浪の画家『裸の大將』山下清さんは放浪しながら各地で絵を描き続けました。こうした生活ができたのも、帰ろうと思えば帰れる安心できる場所があったからではないでしょうか。いつでも安心して戻れる場所があるからこそ元氣もでるし、二人とも全国を回りながら自由な暮らしができたのだと思います。

ある講演会で聞いた話です。猿の群れの子猿たちは、それぞれの母猿から離れじゃれ合ったり追いかけてっこをしたり、時にはけんかをしたりして遊ぶのが日課だそうです。そのような中で、機敏な動きやコミュニケーションのとり方などを学んでいくといいます。つまり、その遊びは子猿にとっては成長するための大切な学習の場なのです。ところが、何らかの事情で母猿がいなくなると、その子猿は急に元氣をなくし、子猿たちの群れにも入れなくなるというのです。これらは、「自分が安心できる居場所、安心できる存在の必要性」を考えさせられる話です。

左近山の子どもたちにとって一番安心できる場所はどこでしょう。それは、それぞれの家庭です。そこには無条件で愛してくれる家族がいます。気持ちを安らかに過ごせる空間があります。そして、困った



ときには何とかしてくれるという安心感があります。子どもたちは、そのような安心して帰れる場所があるからこそ外で元氣に活動ができるのです。いつ傷つけられるか分からない、いつ食べ物や住む場所がなくなるか分からない、そのような不安な状況では、子どもたちは安心して出かけられませんし、元氣も出てきません。平和に安心して暮らせてこそ、勇氣も出てくるし、明日を夢見て勉強しようという気持ちにもなるのだと思います。こうして考えてみると、家庭同様、学校もまた子どもたちにとって安心できる大切な場所でなければなりません。『誰もが、安心して、豊かに生活できる学校』これは横浜市教育委員会が掲げる「子どもの人権を守る」という決意を表した言葉です。誰もが安心して過ごせる学校なら、子どもたちはいろいろな場面で明るく元氣に活動できるはずです。

左近山の地域では、行事、見守り活動、場の提供など、子どもたちが成長するためのいろいろな活動や支援をしてくださっています。

これからも、学校と家庭と地域が協働して、子どもたち一人ひとりが安心して豊かに学び成長できる場づくりを進めていきたいと考えています。



11月のさこんやま

1年こども自然公園学年遠足 11月1日(金)

全校遠足とは違い、リードしてくれる6年生はいませんが、1年生だけで協力して楽しい遠足になりました。



こども自然公園では、秋をたくさん見つけました。モルモットやハツカネズミとの触れ合い、公共バスの乗車などたくさんの体験ができました。



4年旭区児童音楽会・左近山保育園発表 11月8日(金)

練習をたくさん積み重ねたおかげで、区音楽会では自分でも驚くほどびったり声や音色をそろえて歌ったり、演奏したりすることができました。これからも、先生から教わった「練習は裏切らない」を胸に刻んで、何事も101%の全力で頑張ります。



左近山保育園の発表では、きれいな歌声やリコーダーの音色を届けるために、心を一つにして気持ちを込めて演奏しました。

左近山特別支援学校との交流 11月22日(金)

歌やリコーダーを聞いてもらえ、最後にハイタッチできてうれしかったです。校内の見学では、スロープがたくさんあって工夫されていると思いました。



5、6、7組 旭区三浦合同宿泊学習 10月28日(月)～29日(火)

ほくは、油壺マリンパークでノコギリエイを見ました。ノコギリエイのノコギリが鋭くて、めちゃくちゃかっよかったです。また行けたらいいです。



広場で、夢中になってみんなで鬼ごっこをしました。いつもと違って大人数でできました。全力で走ることが気持ちよかったです。



マリンパークのイルカショーでは、アシカがピアノを弾いていたところが驚きました。



12月の生活目標 ⑧よく考えて取り組みます。

【校庭開放終了時刻】16時迄〔11月～1月〕

◆「第7回 地域がっばい 左近山フェスティバル ～学びを伝える会～」開催◆

【地域材活用による地域理解・郷土への愛着】

本校では地域の材を学習に積極的に取り入れ、まちで出会う「人」「もの」「こと」とのつながりを生かした学習を展開しています。「左近山フェスティバル」では地域から学んだことを発表します。保護者、地域の皆様にもその学びをお伝えすることで、地域のよさを感じていただきたいと思います。

【日時】12月7日(土) 8時50分から11時55分 発表は9時開始、詳細は別紙参照〔同日配付〕
8時50分より第1校舎東昇降口・第2校舎昇降口の2か所で受付を開始します。



ねらい

- 《低学年》 〇地域の人々、地域の自然や環境と進んで親しむとともに、他学年の発表を見合うことを通して、左近山地域をもっと好きになることができる。
- 《中学年》 〇地域の人々、地域の自然や環境と進んで関わりとともに、他学年の発表を見合うことを通して、左近山地域では多くのことが学べることに気づき、そのよさを実感することができる。
- 《高学年》 〇地域の人々、地域の自然や環境と進んで関わりとともに、他学年の発表を見合うことを通して、左近山地域では多くのことが学べることに気づくとともに、自分たちもこの地域に生きる一員としての自覚をもつことができる。
- 【共通】 〇互いに努力を認めながら協力して、美しいもの、よりよいものをつくり出し、互いに発表し合うことにより、自他のよさを見つけ合う喜びを獲得するとともに、自己の成長を振り返り、自己を伸ばそうとする意欲をもつことができる。

◆学校評価「学校づくりアンケート」提出のお願い◆

アンケート

1年間のまとめの時期になりました。職員、児童、保護者で本校の教育活動を振り返ります。今年度も学校評価アンケート(「学校づくりアンケート」)を実施します。「左近山フェスティバル〔12月7日(土)〕」だけではなく、この1年間での児童の様子を通して評価をお願いします。この結果を地域の方にも提示し、連携しながら本校の学校教育をよりよいものにしていきたいと考えています。各担任までご提出をお願いします。

アンケート 配付：12月6日(金) → 提出期間：12月9日(月)～13日(金)

◆令和2年度通学路変更に向けた児童通行状況確認◆

現在、「第3バス停交差点の横断歩道を3回横断する通学路」について、左近山中学校前の道路反対側歩道にガードレールが新設されたことで、通学路の変更を検討しているところです。つきましては、西門から左近山商店街を通り抜け、左近山第3バス停交差点までの経路について、児童の通行の様子を実際に確認させていただくため、次のとおり集団下校を2回計画しました。ご理解ご協力をよろしくお願いいたします。(通学路の変更は、令和2年度4月からを予定しています。)

- 1 対象児童 左近山第3バス停交差点の横断歩道を3回横断する登校班 1～5年生(約300人)
- 2 日 時 (1回目)12月9日(月) 1～3年：5校時授業終了後、4～6年：6校時授業終了後
(2回目)12月19日(木) 5校時授業終了後
(予備日)12月23日(月) 5校時授業終了後
- 3 当日の流れ 校庭で対象の児童に通学路変更と注意事項について説明後、教職員および関係のPTA役員が引率して、登校班毎に順次下校します。



スクールカウンセラー12・1月来校日

12/3(火) 1/14(火) 1/28(火) すべて全日

相談を希望される方は養護教諭(矢崎)迄ご連絡ください。

